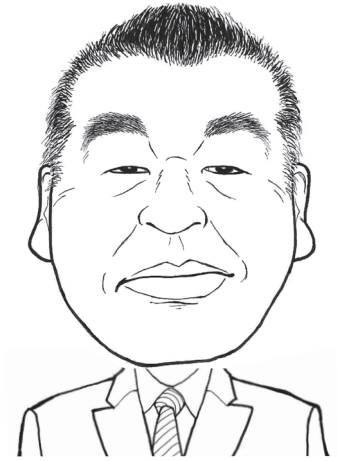


# 商工会の広域連携人材マッチング支援事業について



ただのとしひこ  
**只野敏彦** 議員

**町長** 商工会と連携し、様々な施策を展開していきたい

**町長** 商工会と連携しながら、様々な施策を展開していきたい。  
また、地域おこし協力隊も積極的に活用していきたい。

**問** 清水、新得、鹿追、芽室の商工会の求人情報の大きなチラシが新聞に入ったが、他町に比べて清水の求人件数が多い、やるべき対策を打って人材不足解消、経済の停滞を招かないように商工会への支援が必要と思うが町の考えを伺う。

**町長** 関係人口とは、地域に縁がある人や地域に思い入れがある人など、地域に多様に関わる人をさしていること認識しており、近年、地方創生や地域活性化を図るうえでとても

**問** 最近関係人口の言葉と重要性がよく聞かれる。本町は渋沢栄一関連で関係人口作りをしている。私はさらに町外で活躍している本町出身の方々を招いて会議をすることによって我々の視点とは違う角度の発想などのアドバイスをいただけたと思う。多くの人たちに協力していただければ、もっと良い町になると思うがいかがか。

**町長** 情報を集め、町づくりにかせるよう取り組んでいく

大切な方々であると思っ  
ている。  
本町においては、東京清水会や札幌清水会、帯広清水会など本町を出身地とする方々や、毎年のようにふるさと納税をしていただく方など、本町を応援してくれている方はたくさんおり、大変ありがたく感謝している。  
今後、情報を集め、応援していただける方々の知識や経験をまちづくりに活かせるよう取り組んでまいりたいと考えている。

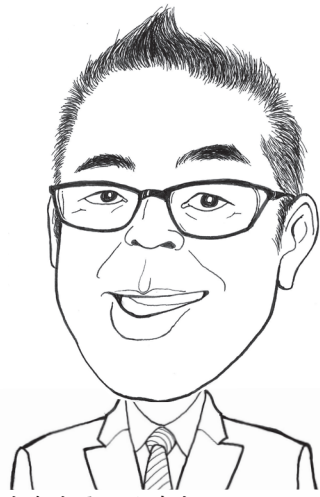


スキー少年団の様子

**問** 6月定例会でも質問したが、その際、施設使用料の全額免除、練習時における清水御影間等の送迎事業の実施、団体や個人が十勝を代表して全道・全国大会に参加する場合は、優秀児童生徒派遣費として、大会参加費のほか、宿泊費、交通費を引率者を含めて助成しているという答弁であった。大会参加費の負担が大きくなって払えないという声を聞くが助成する考えはないか再度伺う。

**スポーツ少年団等の大会参加費について**  
**教育長** 大会参加費助成の考えはない  
活動環境の整備に努める

**教育長** スポーツ少年団は子どもたちがスポーツを楽しむとともに活動を通して社会性を身に付けることを目的に活動している、日本スポーツ団体に登録している青少年スポーツ団体である。  
町は、限られた財源の中で優先順位を考えながら政策に取り組まなければならぬ。スポーツ少年団等は個人の自由な活動であり、加入も大会参加も個人の判断に委ねられていることから、大会参加費の助成については、今のところは考えていない。  
今後も意見があるようであれば再度議論していきたい。



かわかみ ひとし  
川上 均 議員

## 令和6年度に向けた委託の買物銀行バス、部活バス及びコミュニティバスの運行について問う

町長 社会福祉協議会と協議し体制整備を検討する

### 問

町では委託による買物銀行バス、部活や少年団の送迎及びコミュニティバスの運行を実施しているが、特に買物銀行バスの充実を望む声は多い。そこで、現状での課題及び今後令和6年度に向けてどのような課題を改善していくのか取り組みについて考えを伺う。

### 町長

買物銀行バスは、運転手の恒常的確保が課題であり、委託先の社会福祉協議会と連携し対応する。部活バスは利用団体増に伴う車両や運行管理

## 小中一貫教育に向けた取り組みを問う

教育長 引き続き推進協議会等で説明し、理解を深めていく

### 問

体制を委託先の社会福祉協議会と協議し体制整備を検討する。コミバスは利便性の課題から利用者が減少しており、今後は廃止し買物銀行バスのさらなる充実に向け検討する。

町では令和7年度実施に向け具体的な小中一貫教育の取り組みを進めているが、多くの町民、保護者そして実際に事業を進める教職員の理解は決して十分ではない。今後町としての小中一貫教育の目指す目的と推進状況、現状で明らかになっている課題、そして完全実施に向けて特に教職員への十分な協議と理解による体制づくりについて考えを伺う。

### 教育長

現在、小中一貫教育検討委員会及び小中一貫教育推進協議会を設置、「清水・御影中学校区」の2つを区域として子どもたちの「主体的・対話的深い学びの実現」のために準備を進めている。保護者へは通信を発行し、今後はPTAなどで説明、理解を深めたい。教職員には新たな研修や打ち合

## 学童保育所の今後の取り組みを問う

町長 放課後児童が安全に過ごせる環境作りに努める



清水小学校

わせでこれまでにない負担があるが、それ以上に子どもたちの成長や教員のプラスになるなど、「小中一貫教育」は必要な取り組みと考え、全教職員が参加する推進協議会で説明し、理解を深めている。

### 問

清水学童保育所については、現在の児童館の老朽化が著しく、令和6年度より清水小学校に統合すると聞いている。今後の少子化による空き教室の活用とのことであるが、学校から様々な課題も聞いている。それが本当に子どもたちにとって望ましい体制なのか、現状の課題と今後新築に向けての途中経過なのか考えを伺う。

### 町長

児童館は昭和55年に建設、老朽化し今後の使用は難しく、2力所の運営により指導員の確保も課題である。国は、新・放課後子ども総合プランで小学校の余裕教室の活用を推奨しており、今後は正職員を配置し指導員を手厚くすることにより、放課後児童が安全に過ごせる環境を作っていく。